

会 議 録

会議の名称	第7期第13回美住リサイクルショップ運営委員会全体会				
開催日時	平成23年11月1日(火) 午後7時00分～午後9時25分				
開催場所	美住リサイクルショップ活動室				
出席者及び欠席者	<p>●出席者：          (委員) 田浪政博(委員長)・秋本幸子・上村麻弓・松田潔          川越勲生・井木朋子・関根恭江・高木貞治・村田駿一          名畑五郎・加藤安信・守屋裕子・佐藤斉・安藤佐知子          (市事務局) 井上ごみ減量推進課長・山田リサイクル推進係長          澤井主任</p> <p>●欠席者：津田勝江・吉川隆一</p>				
・傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	0名
会議次第	1. 開会 2. 報告事項 ① 資源循環部 ② 運営委員会 ③ グループ報告 3. 確認事項 4. 検討事項 5. その他 6. 閉会				
問い合わせ先	ごみ減量推進課長 井上聡 (内線2611) リサイクル推進係長 山田秀明 (内線2616) 電話番号 042-393-5111 ファックス番号 042-391-5847				
会 議 経 過					
(進行・佐藤斉)  1. 開会 ○田浪委員長 小金井市の可燃ごみの処理について新聞報道されています。 小金井市は調布、府中の2市と運営してきた二枚橋焼却場が老朽化して停止し国分寺市と新たな処理施設を計画してきましたが難航したため可燃ごみの処理を周辺自治体をお願いしてきました。 4月の市長選挙で立候補し当選した現在の市長が周辺自治体へのごみ処理委託により4年間で処理費用が20億円増加したことについて無駄使いをしたと発言し問題視されています。各市の反発により今後の受け入れのめどが立たなくなり小金井市長が辞任すると先ほど報道されました。					

もう一点は以前運営委員を務めていたかたから今まで使っていたコンポスト2基を無料で引き取ってほしいという申し出がありました。高齢になり使えなくなったということです。ご希望のかたはお知らせください。

○井上課長

小金井市が中間処理施設の問題で苦労しています。立川市、日野市も同様の問題を抱えています。

東村山市は延命化工事を今年度末で終え10年後に建て替えか広域化か今後難しい判断を迫られます。

議会で補正予算について審議され、リサイクルセンター建設について発注仕様書の予算が可決されました。

一定の性能の確保を条件として果たしつつ建設の詳細についてはメーカーに任せる、いわゆる性能発注方式が国からの条件となっています。言い換えますと騒音など環境面での配慮が必要となり部品に何を使うかは問われないという意味です。

12月に発注仕様書が出来上がると中身が分かるようになります。

リサイクルセンター建設後の運営方法について検討しています。

現在シルバー人材センターから派遣されているびん、かんなどの作業員について秋水園周辺から雇用を創出できるか3月末をめどに検討していきます。

2. 報告事項

①資源循環部

○山田係長

- ・美住リサイクルショップ運営委員の辞任

重本委員が10月末で正式に退任しました。

- ・市長懇談会

市長のスケジュールを調整した結果、平成24年1月27日（金）午後1時半から1時間程度行う予定です。

内容は運営委員会の活動報告や行政のごみ問題の進め方についてです。

- ・ソーラーパネル設置工事

平成23年度予算で太陽光発電パネル設置工事費として300万円の予算がつけましたが金額的に大変厳しい数字でした。

東日本大震災が発生した3月11日以降この分野で技術開発が進みコストが抑えられなんとか設置できる見込みになりました。1月末までにソーラーパネルを製作し設置工事を2月から3月にかけて実施する予定です。

ディスプレイを充実してほしいと運営委員会から要望がありましたが予算の関係で難しくなりこの点に関しては運営委員の皆さんのアイデアでモニター周辺を充実させるようにお願いします。

- ・美住リサイクルショップ来館者数

平成23年度に来館者数の目標を2万人に設定しましたが4月から9月までの実績は8千人です。

このペースでは年間1万6千人で残りの5か月間で販売やイベントの充実等皆さんのアイデアで2万人に近づけていきたい。

- ・廃棄物減量等推進委員

減量指導係の業務の内容について紹介しますので、ご協力いただけるかたをお知らせください。

市内53丁ごとに、ひとりずつ2年の任期で任命し市と市民の連絡役として地域のごみ処理方法等についてご協力をお願いしています。

・市報原稿

12月15号は11月11日、1月1日号は11月25日、1月15日号は12月9日が原稿の締め切りです。

広報事項の提出期限は1月15日号が11月9日となっていますので2月以降に講演会等の事業を予定しているかたはお知らせください。

②運営委員会

・衣類と陶器の引き取り

10月9日（日）

衣類 20名 284点、

陶器 19名 623点

ごみ見聞録10月1日号に陶器引き取りの記事が掲載されたせいか急に増加し忙しかったです。

・おもちゃの病院

10月24日（月）とんぼ工房 2名6点

おもちゃの病院について書いたチラシをリサイクルフェアで配布しましたが、成果が表れませんでした。新しい事業としておもちゃの引き取りを計画し、まず受け入れとして可能かどうかドクターに相談しています。

直せる品物は修理し、直せない品物は部品として使うという方向で検討しています。

・東村山市リサイクルフェア

10月23日（日）午前10時から午後2時

自転車発電2台と生ごみの水切りを目的にチラシで箱を折るコーナーを設置しました。

こども広場が前にあったため人が流れて来なかったので来年に向けて改善してほしい。

③グループ報告

・リフォーム

クラフトと合同で「牛乳パックで作るいす」を10月18・25日に行いました。参加者は8名で背の高さの異なる2種類を作りました。背の高い物は牛乳パックを24個使うので材料の準備が大変でしたが事務局に協力していただき助かりました。牛乳パック10個で作る物は小学校の出前授業で実施できるか検討します。

・こどもエコ

報告事項はありませんが来館者数の増加に向けて検討します。

・エコプロ

報告事項はありません。

3. 確認事項

・広報

夢ハウス日より12月1日号を発行します。

11月15・16・18・20日に印刷するのでご協力ください。

15日（火） 広報グループ

16日（水） 村田、高木、

18日（金） 安藤（午前）、加藤（午後）、秋本

20日（日） 加藤、佐藤

- 衣類と陶器引取り
  - 1 1月13日（日）
    - 衣類 津田、井木、守屋、安藤、友布
    - 陶器 高木、松田、村田、関根
  - 1 2月11日（日）
    - 衣類 津田、井木、守屋、安藤、友布
    - 陶器 秋本、上村、高木、関根
- 市民産業まつり
  - 1 1月12日（土）
    - 内容 自転車発電、ごみ分別クイズ
    - 田浪、秋本、上村、川越、吉川、守屋（午前）、安藤（午後）
- ごみ講座
  - 平成24年1月21日（土）午後2時～4時
  - 会場 サンパルネ コンベンションホール
  - 講師 倉阪 秀史氏 千葉大学 人文社会科学部教授
  - 広報 夢ハウスだより 12月1日号・市報 12月15日号
  - 司会進行 川越委員
  - 内容 都市における再生エネルギーの可能性についてと講師から提案がありました。タイトルは「エネルギーの地産地消」で検討しています。

#### 4. 検討事項

- 委員研修
  - 平成24年1月24日（火）
  - ロッテ、味の素、千成産業（日高市・生ごみ処理施設）
  - 葉山町（ごみ減量に積極的な取り組みをしている自治体）
  - 以上について提案があり11月の役員会で最終決定することになった。
- 市長懇談会
  - 平成24年1月27日（金）午後1時半から

#### 5. その他

- エコプロダクト（川越委員）
  - 日本経済新聞社主催の環境展示会が12月15日から17日まで東京ビッグサイトで開催されます。
  - 地球環境問題に関する調査研究、ものづくりの実践的な取り組みの発表等の催し物なので皆さん参加してください。
- けやきの切り株
  - 1 1月13日（日）衣類・陶器の引き取り終了後作業することに決定。
- 活動室
  - 活動室の使用料免除団体に1件申請がありました。
  - 団体名 ガイガー東村山（24名）
  - 活動内容 子供たちが健やかに成長することを目的に放射能の測定結果を市のホームページに掲載することや学校給食の食材を研究している。
  - 討議した結果、活動室使用料免除団体として満場一致で承認された。

## 6. 閉会

運営委員の皆さんからの要望も含めて新年度予算案の作成作業を進めています。  
夢ハウスだよりのお話がありましたが印刷用紙のほかにインク代に7万円、配布委託料に39万円かかります。良い紙面づくりをお願いします。  
本日は長時間お疲れさまでした。